



福祉施設 広報誌

木もれ陽

No.76

2020.春号

木もれ陽……

木立の合間からやさしくもれる光

木立の中の生命を育てる光

それは多くの皆様からの優しく支えられた愛である

「やさしさと愛情」「やわらかいぬくもり」

「あたたかい思いやり」である



たちばな苑利用者様の作品

岡山県済生会の理念とビジョン

～切れ目ないサービスのために～

岡山県済生会の理念

あらゆる人々に手をさしのべる済生の心で
まことの医療・保健・福祉のサービスにつとめます

岡山県済生会のビジョン

(社会におけるポジション)

1. あらゆる人々に信頼されるパートナーを目指し、良質・安全で、潤いのある医療・保健・福祉サービスを提供する岡山済生会トータルライフケアシステムを実現します。

(事業経営の将来像)

2. 済生会グループの総合力を活かし、地域との連携のもと、医療から介護に至るまでの一貫したサービスが提供できるネットワークを構築します。

(組織の人のあり方)

3. 適切な人事評価やキャリアアップ支援など、職員が誇りとやりがいを持てる組織を目指し、職員満足と健全経営の両立を図ります。

目

次

- ライフケアセンター…………… p 2～9
- 憩いの丘…………… p10～11
- 備中荘…………… p12～13
- 宇垣荘…………… p14～15
- 玉松園…………… p16～17
- 和みの郷かなや…………… p18～19
- 新人紹介…………… p20～22
- トピックス…………… p22～24

「おかやま☆フクシ・カイゴ職場 すまいる宣言」 事業所登録しました!



「おかやま☆フクシ・カイゴ職場 すまいる宣言」は、自ら人材育成や就業環境の改善など、働きやすい職場環境づくりに積極的に取り組み、一定の基準を満たした福祉・介護事業所の宣言内容について、岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会において確認し、宣言事業所として登録する制度です。

現在、必須項目に加え、より進んだ取組・モデル的な取組等の認定基準を満たしている五つ星宣言事業所は10法人ありますが、済生会の福祉施設もその認定を受けています。

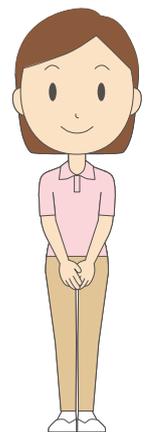
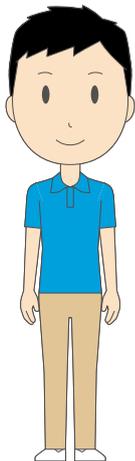
五つ星宣言の項目は、☆必須項目を満たす ☆新規採用職員の育成体制 ☆給与体系・職場環境 ☆キャリアパスと人材育成 ☆地域貢献 です。

この宣言にあるように、働きやすい職場環境づくりに積極的に努めていきたいと思っております。

<新型コロナウイルス感染防止のため面会制限をしております>

ご利用者・ご家族様などには大変ご不便をおかけしておりますが、状況が好転するまでは、今しばらくご理解いただきますようお願い申し上げます。

- ①マスク着用、手洗い・手指消毒
- ②来館者名簿に記入・検温、名札着用
- ③荷物は受付にてお預かりいたします。





やよいの里の四季 『春宵一刻値千金』



京山のむこうに沈む夕日 やよいの里から

コロナの緊急事態宣言が出て約1ヶ月。部屋にこもりきりで、少々疲れが出て来た我々を『明日も元気に頑張れよ』と西の空を真紅に染めてエールを送り、太陽は去っていきました。

令和2年5月1日18時45分頃 撮影

【不要不急の外出はお控えください】と、お願いしております。

その日々の、生活の中で見つけた素敵な1コマを、切り取って下さいました。

ご提供、ありがとうございます。

ある入居者様からは「新型コロナウイルスで自粛！自粛！と言われていますが、毎日美味しく

いお食事を頂けることは幸せです。戦時中を生きてきた私にとって、色々な規制があっても、不自由に思いませんよ！」と笑顔で言われました。深～いお言葉だなあと、感動しました。

もうしばらく、皆様共に耐えて乗り越えて参りましょう。ご協力をお願いいたします。

やよいの里職員一同

ぜんざい会

2月4日に豆腐団子のぜんざい会を行いました。

「美味しいわ。」「このお団子はどうやって作ったの？柔らかくて食べやすい。」

皆様よりお褒めの言葉をいただき大盛況のうちに終わりました。喜んで頂き嬉しく思います。2月の寒い時期に気持ちまでほっこりとした時間を過ごすことができました。

皆様、日々を大切に元気に乗り越えていきましょう。

看護師 大倉 圭子

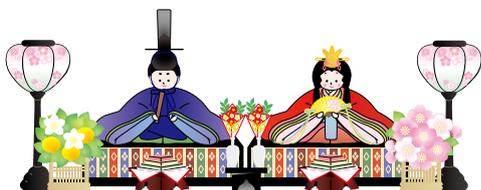


雑茶会



3月5日に雑茶会を行いました。この度、新型コロナウイルス流行の為ボランティアの方によるミニコンサートは中止となりましたが、その分職員が愛情をたっぷり込めてお抹茶を点てました。「引千切(ひちぎり)」という和菓子と一緒に召し上がって頂きました。

笑顔…笑顔の花が咲き素敵な春の訪れを感じられる楽しい会となりました。ご参加、ご協力下さいました皆様に感謝いたします。 看護師 浪本 文子



なごみ苑

有料老人ホーム(混合型特定施設)



《節分・豆まき》

なごみ苑では、2月4日(火)に毎年恒例の節分の豆まきを行いました。
 今年の福男と福女のご紹介をし、恵方巻に見立てたチョコクレープをコーヒーとともに頂きました。
 皆さん楽しくお話をしていると、どこからか太鼓の音が聞こえてきて長い金棒を持った青鬼と太鼓を
 打ち鳴らす赤鬼がやってきました!

まずは福女の方が「鬼は～外!」と豆を投げます!
 鬼たちはまだまだ暴れています。そこで、みんなで「鬼は～外! 福は～内!」と勢いよく豆を投げ続
 け、鬼はたまたま降参です。職員扮する青鬼と赤鬼を「あの芸達者ぶりは〇〇さんと〇〇さんだね」と
 皆さん気づいていて最後は記念写真を撮りました。

皆さんが無病息災、健やかに1年間過ごせるように
 しっかりと邪気払いもできとても楽しい時間でした。

鬼は～外!

福は～内!



《2並びの日》

令和2年2月22日。2が並んだ日にちも珍
 しく、なかなかないので皆さんで記念撮影を
 行いました。

良い写真が撮れたので抜粋して紹介しま
 す! (^^)

以前なごみ苑でも数字並びの日に写真撮影
 をしましたがその時の写真と見比べると、参
 加された中には大正、昭和、平成、令和と
 様々な時代を生きてこられ、歳を重ねて来ら
 れているのかと思うとても感慨深い写真だ
 なと思いました。

そして、ご高齢になっても皆さん元気に過
 ごされています。

職員もそのパワーを見習わなければと思
 います(笑)。

そして、次の数字並びの日に皆さん揃って
 元気な姿で写真が撮れますように・・・。

それまで、お互い元気で頑張りましょ
 うね! (^^) /



介護職員 石神 奈美子 稲本 祐子



今年はコロナの関係で家にこもりがちですが、皆様はステイホームをどのように楽しんでいますか？

みなみがた荘では、職員一人ひとり健康に気をつけ、毎朝の検温や手洗い・うがい・消毒の徹底を行い、「コロナにかからない・うつさない」、そして密にならないよう気を付けています。

毎日健康に過ごすためにも、集団リハビリは欠かすことが出来ません。今までは5階6階合同で行っていましたが、現在は各階で隣の人との間隔をしっかりと、のびのび身体を動かしています。しっかりリハビリした後はお楽しみの水分補給。皆様美味しそうに飲まれています。



午後からのレクリエーションでは、魚釣りゲームや輪投げ、しりとり等を行います。今は6月に向けて、壁に飾るように紫陽花の花を作っています。

和紙を絵具で染めて花の形に作ったり、他の人の和紙を見て「そっちの色の方がきれいじゃなあ。」「こっちの方が好きな色じゃわ。」など、楽しそうに貼っています。本物とはまた一味違った綺麗な紫陽花が咲いてくれると思います。

恒例の、春に予定していた遠足には行くことができなかつたのですが、今年は昼食に「松花堂弁当」という豪華な食事を食べて頂く事となりました。いつもと違う器で巻き寿司や手巻き寿司、煮しめやフライ等品数豊富です。「おいしいなあ。」「もう少し食べたいなあ。」「フライが美味しいわ。」と好評でした。

皆様、現在は元気に過ごしておられるので、ご安心ください。



コロナに負けず乗り越えましょう!

介護職員 武田 悦子



なでしこ苑

介護老人保健施設

4月お誕生日会

暖かな陽ざしと桜咲く4月、なでしこ苑では6名の方がお誕生日を迎えられました。

春爛漫ですが、今年はテレビでもコロナニュースの暗い話題ばかり。そんな中、皆さんに少しでも明るい気持ちになって頂けるように、春を感じて頂けるようにと考えてみました。

誕生者の方からひと言ずつご挨拶を頂いたのですが、皆さんマイクを向けられて緊張した面持ちでした。

余興では「昭和の懐かしい遊び」と題して、新聞紙で作った兜と刀で「チャンバラの勝ち抜き戦」と「瓦割り」を行いました。これが予想以上に盛り上がり、勝敗がついても刀を手放さない方もおられました。皆さん笑いながらも本気で?! 戦っておられました。

新聞紙の「瓦割り」は「ふだんのストレスをエイッと瓦を割って発散してくださいね」とアナウンスしたところ、あちこちから「エイッ! エイッ!」と大きな掛け声と共にチョップやグーで盛大に瓦をバリバリ割って楽しまれていました。(皆さん、たくさんストレスが溜まっているのでしょうか(笑))



「新聞紙のチャンバラ」



「決勝戦」

誕生日会のラストには、誕生者の方を中心にうちわで桜の花を仰いで頂き、花吹雪を散らせました。



「桜吹雪を散らしましょう」

利用者の皆様の「健やかな生活と幸せ」という願いをこめた桜吹雪が舞い、4月の誕生日会を賑やかに終えました。

介護職員 土屋 葉子

〈2F〉《自粛の日々》

少し汗ばむような暖かい時期になりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。せっかくの時期ですが、コロナウイルスの影響で、面会や外出などができず、うかない表情をされている皆様の様子を見ると心が痛みます。



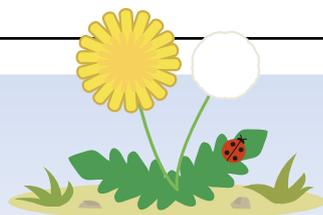
面会制限などで御家族と会えないのはとても辛いですね。今まで送っていた生活ができなくなって、今までの生活の有多難みを感じています。

先日まで、誕生会などで集まり、談笑出来ていたのが嘘みたいに思えます。

自粛が続く中、気持ちが晴れないかもしれませんが、これ乗り越えて、また皆様と集まって色々な事が出来る日を楽しみに頑張りましょう！

職員一丸となり、感染防止に努めて参ります。

介護職員 宇治 佳城



〈3F〉《ユニットリハビリ》

新緑の候、皆様いかがお過ごしでしょうか。

コロナウイルスの為になかなか気軽に外出できなくなりましたが、私は入所者の皆様方と一緒に、窓から外の景色を眺めたりしながら移り行く季節が分かるように過ごしております。

また、身体もしっかり動かせるようにリハビリ職員でのリハビリだけでなく、ユニットでも介護職員によるリハビリを行っています。下肢筋力強化の為に歩行訓練、立位保持訓練等はもちろんのこと生活に即した生活リハビリや認知機能低下防止の為に脳トレ問題など...

入所者様と職員と一緒に、ゆっくり過ごせるように心を込めてこれからも過ごしていきたいと思っています。



介護職員 川崎 由美



〈4F〉《3月の誕生日会「ひな祭り」》

3月と言えば、皆さんはどんな行事を思い浮かべますか？

3月3日はひな祭り。女の子がいる家ではひな人形や桃の花を飾り、ご馳走を食べて祝った思い出がある方も多いのではないのでしょうか！3月13日(金)に、誕生日会を行いました。4Fではプレゼントの贈呈、入所者様による大正琴の演奏にあわせての歌唱、そして記念撮影をしました。

この記念撮影は、誰もがお内裏様とお雛様になれる事が出来るのです。職員や入所者様とペアで写真を撮りました。恥ずかしがる方もいましたが、皆さんとても良い表情をしていました。来年もまた記念撮影しましょうね！

これからも笑い声の絶えないユニットでありますよう、努めていきたいと思ひます。



介護職員 明井 彩也香

デイケアセンター

通所リハビリ

・ 節分

「鬼は～外！！福は～内！！」「あれ??入らん」「ヨイショッ!入ったあ!」「ありゃ～いけん」「なかなか入らんわ～」「こっちの方が、よおけえ入っとる」と、今年は2グループに分かれて玉入れ形式で豆まきをしました。

ただの玉入れでは節分の雰囲気が出にくいので、籠には利用者様の鬼の手作りお面を付け、豆の代わりは新聞紙を丸めた新聞豆にしました。

籠は近くてもなかなか新聞豆が入らず、職員も利用者様も一生懸命に参加し、途中、豆まきなのか、玉入れなのかよく分からないほどの大盛り上がりで白熱した豆まき?玉入れ??になりました(〆〆)

きっと利用者様の一生懸命な豆まきが実って、今年も皆様の元に福が訪れることと思います。



・ 作品づくり

デイケアでは余暇活動を使って季節に応じた作品を利用者様と一緒に作っています。今年に入ってからは、獅子舞、鬼、お雛様、桜傘、金太郎、鯉のぼりなど、様々な季節の作品を作りました。

利用者様からは「今度は何を作るの?」「これは何が出来るん?」「私にもさせて」と楽しみにして作って下さる方や「ここはこうの方が良いなあ」とアドバイスを下さる方もいらっしゃいます。

皆様と一緒に作り上げていく作品は、毎回私達の想像を遥かに超えた素晴らしい作品が出来ています。完成品を飾ると「良いのが出来たね～」「良いじゃない!」「可愛い♡」と高評価を下される方や、「目の位置がもう少しこっちの方が、もっと良かった」とちょっぴり辛口評価の方など、皆様が様々な形で作品作りに参加して下さいます。

デイケアでは、『作って楽しい!見て楽しい!』をモットーに、今後も皆様に季節を味わって頂ける様な作品づくりをしていきたいと思っています。

リクエストがありましたら、どうぞ職員までお知らせ下さい!



・ マスク作り

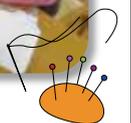
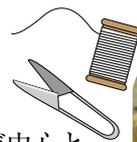
昨今、マスクが手に入りにくい状況を受けて、デイケアでは利用者様自身が使用するマスクを作製することにしました。

材料は、晒や自宅にあるガーゼハンカチや余り布で、裁縫が得意な方が中心となり、おそらく初めてであろうマスク作りに取り組んでいます。

職員も初めての手作りマスクですが、型紙を用意し、手探りで始めた中、心強い先輩方の協力もあって少しずつ完成しています。

参加されている利用者様の中には、「孫から欲しい。」と言われたのよ。」と、とても嬉しそうに教えて下さいました。お孫様の分まであつという間に仕上げ上げて差し上げたそうです。

利用者様のマスク作りが、少しでもマスク不足解消の力になれば幸いです。



介護職員 長町 理絵

松花堂弁当

4月22日(水)この日!! 朝からメニューを見た方が嬉しそうに「楽しみだわあ。どんなおかずじゃろうか? 今日来て良かった」と、はしゃいでおられました!

そして、昼食の時間になりお膳をお持ちすると「わあ! おいしそう(*^-^*)」召し上がる前から大喜び。

特に普段自宅での食事が多い方、一人暮らしの方、ご自分で作られている方は、見た目も味も大満足のご様子でした。

中にはご家族に「あの弁当をまた食べたい」と話された方がおられました。

「明日もお昼はこの弁当かな?」と言われる方もおられました。



実習生とのふれあい

コロナウイルス感染対策として行事が中止になっている中、とても楽しく過ごせた日がありました。それは実習生が企画するレクリエーションです。

「鯉のぼりのちぎり絵」をグループで完成させていったり、絵に書いた魚を磁石にくっつけて釣り上げるゲーム等、実習生と一緒にとても楽しまれていました。(「ガンバッター!」の声も聞かれました)

ちぎり絵はグループによってそれぞれ味のある作品が出来上がり早速飾りました。

魚釣りは本気になって勝負される方もいて、なかなか終わる事ができないぐらいでした。

皆さん真剣に釣っておられ「今日の夕飯は魚にしようかな」と話しておられました。

(どんな料理ができたのかしらん?.....)



今デイサービスで流行っていること

時々盛り上がりしてしまう事があります。それはトランプゲームの「〇〇抜き」です。



皆さんも一緒に
参加しに来られませんか。
待っ・て・ま〜す❀

介護職員 西谷 裕子



特別養護老人ホーム

憩いの丘 デイサービスセンター

山野草

テレビでも巷でも話題は新型コロナウイルスのことばかり…

全国各地での外出自粛を受けお花見シーズンでもなかなかお出かけが出来ない辛い現実の中にいます。そんな中ですが、憩いの丘デイサービスセンターでは多種の山野草やお花が入れ替わりで入ってきます！

利用者の皆様が少しでも気持ちが前向きになるように、と素敵なお花を持って来て下さいました。職員を含め誰もが立ち止まってうっとりとお花を鑑賞してしまいます。中でもひときわ目を引いたのが、“八重桜!!” 一枝切った八重桜は1.5メートル程の大きさで、存在感たっぷりで威厳を放っていました。

こんな状況ですが皆で乗り切っていきたいと思います。

生活相談員 片岡 なおみ



マスクをいただきました!

令和2年3月にとりまとめられた『新型コロナウイルス感染症に関する緊急対応策』で当事業所にもマスクが届きました！介護施設や障害者施設、保育所、児童クラブ等現場におけるマスク不足解消の目的があります。ガーゼマスクは1日1回衣料用洗剤で優しく押し洗いして、柔軟剤は使わず陰干し自然乾燥します。ご利用者に説明して配布すると、「本当に今年はとんだことになったなー。いろんな事が中止になって、どこにも行けんようになって。いつ終わるんじやろうか。」と口々に不安の声がありました。営業するにあたっては検温、うがい手洗い、消毒の励行で、三密禁や日々の生活について注意喚起の毎日です。また、住民登録台帳通りに一人10万円支給についても、時世の状況に乗じて詐欺を考える者も出てくるかもしれないので「コロナ詐欺」に騙されないようにと啓発しています。ご利用者とともに「ありふれた普通の日常を送ること」「何でもないようなことがしあわせだった」と感じる今日この頃です。平穏な日々が来ることを皆で祈るばかりです。



生活相談員 矢尾 みずほ

特別養護老人ホーム 憩いの丘

「食事前、嚥下体操で美味しくご飯頂きます。」

今年度は新型コロナウイルスの影響で密閉、密集、密接とならないように、行事やクラブ等を各ユニットで行っています。リハビリも各ユニットで廊下の手すりを持って行う立位訓練や棒体操なども行っています。またお食事を美味しく安全にいただくために嚥下（飲み込み）を良くする健口体操という体操を行っています。これは深呼吸をしたり、頬を膨らませたり、「パ・タ・カ・ラ」という発声をする体操です。今日も利用者の元気な声が施設内に聞こえてきます。

まだまだ予断を許さない日々が続きますが、気を引き締めて出来ることを行い日々の生活を過ごしていきたいと思えます。

介護職員 坂本 真由美



『コロナ予防でみんな元気!』



今年に入り2月には節分祭を行いました。お祓いをして頂き、職員が鬼に扮装し鬼退治を行いました。今年もたくさんの「福」が来ますようにと思っておりましたが・・・

「新型コロナウイルス」により各行事等が中止になりました。

しかし少しでも利用者様に楽しんで頂ける様、「3密」に気をつけながらボール遊びやパズル・歌などを行っています。

また、編み物が出来る方はマスコットやブローチなど沢山編まれています。それぞれに楽しく上手な時間の使い方を行っています。

(まさにステイホームですね!)



感染予防として「うがい・手洗い・消毒」は必須です。利用者様の中には手洗いが出来ない方もおられます。職員が手に消毒剤をつけてあげ、ご自分でこすられています。手すり・ドアノブ等消毒の徹底を行い、お互いが感染源にならない様、これからも予防に努めていきたいと思えます。

介護職員 久米井 須磨子

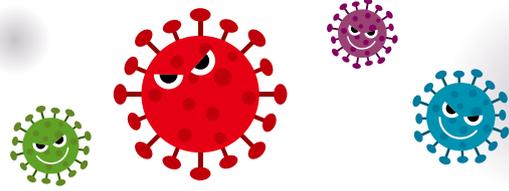




介護老人保健施設

備中荘における新型コロナウイルス感染対策

突如現れた新型のウイルスに日々脅かされながらも、職員一丸となり感染予防に努めております。関係機関からの新しい情報ごとに感染対策委員会を中心として感染拡大防止対策を見直しながら、実施しております。



感染予防の基本として

●手指衛生の励行

流水と石けんによる手洗い
アルコールによる消毒の徹底

●全職員マスク着用

持ち込まない、拡げない、密閉・密集・密接を避けることを徹底しています。

今後も徹底した感染防止対策を続けるとともに、ご利用者様、ご家族様の精神的安定にも努めて参ります。

看護師 佐々木 由美子
介護職員 吉田 直美



中国学園大学からの実習生受け入れ

令和2年2月17日（月）～2月21日（金）の5日間、中国学園大学から実習生1名を受け入れさせて頂きました。毎年この時期はノロウイルス発生の時期でもあり気を遣うのですが、今年は新型コロナウイルスもあり、互いに気を遣いながらの実習となりました。

給食管理業務では、事前に小鉢の献立を2品作ってもらい、実習中の献立にそれを入れ、下処理から盛付まで携わってもらいました。また、食材の入荷から、おやつ作りや洗浄などの一連の流れを学んでもらいました。下処理でネギを切ってもらっている時に、指（爪）も切ってしまい、爪の行方が分からなくなりネギは廃棄処分になりました。その場ですぐに申告してくれたので給食を止めずにすんだこと等、痛い思いをさせてしまいましたが、衛生のことや異物混入の大変さを文字通り身をもって感じる事ができたのではないかと思います。

また、ミールラウンドの様子や集団指導で地区の方々に話をしている様子を見学してもらいました。新型コロナウイルスの影響で、入居者様や利用者様と間近で関わってもらえなかったのが残念ですが、給食管理から栄養管理、公衆栄養まで幅広く見てもらいました。5日間という短い時間でしたが、今回見聞きしたことが栄養士として社会に出るためのヒントになってもらえればと思います。



管理栄養士 谷口 直美

介護老人保健施設

高松ふれあい元気クラブ自主講座への地域貢献

令和2年2月21日（金）に、備中荘近隣の高松公民館“高松ふれあい元気クラブ自主講座”に講師として行って参りました。今年で4回目になります。新型コロナウイルスの心配もある中、13名の方にお集まりいただきました。平均年齢79.1歳。内訳は男性5名（平均年齢83.0歳；67歳～91歳）。女性8名（平均年齢76.6歳；73歳～82歳）です。

元気クラブにお集まりの方々は、健康や食事について良く勉強されている方も多いため、毎回どんな話にするか頭を悩ませます。今回は実習生にも勉強の一環として参加してもらった為、いつも以上に悩むことになりました。悩んだ挙句、『健康寿命をのばそう！』のタイトルで「動けるカラダを作る栄養の話」と「口の健康」の2本立てで話をさせて頂きました。「とても分かりやすかった」「大切なことを再認識した」「なるほどと思った」などの感想をいただき、悩んだかがありました。また、こちらからの問いかけに返答してくださったり、パタカラ体操を一緒に元気にしてくださったり。元気クラブに参加の皆様はいつも積極的で、次回への励みにもなりました。

管理栄養士 谷口 直美



窒息時の対応・AEDデモンストレーション実施

令和2年2月21日（金）に勉強会を実施しました。窒息は食事摂取時・異物の誤嚥、誤飲・喀痰等での窒息が考えられます。食事摂取時には、嚥下が良好な場合でもふとした瞬間に窒息に至るケースもあるので、食事時の見守りは非常に大切です。異物の誤嚥では、異食のケースに備え危険な物は撤去しておく等の対策が必要です。喀痰では日頃より痰の量や性状を把握し、体位に気を付け、食事前の吸引等の対応が大事です。窒息を発見した場合は、人を呼びながら、状況把握をし、救急処置をします。人数が多ければ多いほど、早急に処置対応ができます。処置としては、気道確保として異物除去（背部叩打法・吸引・タッピング）を行い、心肺停止が認められれば、人工呼吸、心臓マッサージ、AEDを行います。



AEDのデモンストレーションでは参加者全員で実施しパットの貼る位置や、心臓マッサージの強さの確認をしました。

窒息、心肺蘇生は、いつ発生するか分かりませんので、いつでも的確に迅速に対処できるように、留意していきたいと思えます。

看護職員 西崎 恭子

宇垣荘デイサービスセンターのご紹介

★月に1度のお楽しみ♪クラフトクラブ★

デイサービスでは月に1回クラブ活動として工作をしています。作ったものは1か月ほど飾れる様に少し早めの時期に作る様にしています。皆さん作品に取り組まれる姿は真剣そのもの。「どうしようかな」「それ良いね!」「失敗した～」とあちらこちらで反省会も。「みんな違ってみんな良い♡」今回の出来はどうか。次回をお楽しみに。



★春ですね♪花壇づくりをしています★

天気のいい日にお花の種を植えました。「この花がいわ」「早く咲かないかな」一緒におしゃべりをしながら共同作業です。花が咲く日を心待ちに、まずは目で楽しんだら、押し花、お風呂に浮かべてと大活躍してくれることでしょう。それまでは運動を兼ねて散歩をしながら観察です。お花の隣では菜園が出来ています。花より団子・・・野菜の出来も気になるところです。今年はたらの芽も。春ですね～♪



★しっかり体操もしています!★



イチ・ニ・イチ・ニ・・・掛け声に合わせて運動です。誰ですか、おしゃべりに夢中になっているのは?頭と体をしっかりと動かして、これからも元気で過ごしてくださいね。宇垣荘で待っています!!

生活相談員 國富 由香里

ゆったりのにびり過ごしています

コロナウイルスの影響で入居者様が楽しみにしていたお花見や茶話会等の行事が中止となり、入居者様から「せっかく楽しみにしとったのに残念じゃなあ。」とお声がありました。

こんなご時世ですが、宇垣荘の居室の窓からは自然豊かな環境の中で山桜や藤の花、新緑を眺めることができ、うぐいすの声も聞こえて心もほっと癒されます。

今回は、一日を大切にゆったりと時間を過ごされているやまどりユニットの皆様の暮らしぶりをご紹介します。



たたんであげるわ、私にまかせといて



綺麗に生けるかなあ?奥さんの方が上手じゃなあ~



得意な編み物で次々作品できてます!



将棋名人!今日も勝ったぞ!



マスクをつけて感染予防ハイビス!

入居者様が健康で快適な生活が送れるように、感染予防に努めています。早くコロナが収束し、他のユニットや他事業所の方との交流ができる日を楽しみにしています。

介護職員 渡邊 清美



小規模多機能型居宅介護事業所

春の楽しみ

春と言えば彩り豊かな花が見ごろを迎えるのも楽しみの一つではないでしょうか。

リビングの大きな窓からは、庭の桜や、向かいの山が見え、「あそこに藤の花が咲いているよ」「藤の花といえばあの公園がきれいよ」「あのピンクは山桜じゃろ」と会話が弾みます。

花壇には冬から手入れをしてきた色とりどりのチューリップが咲き「ええ色じゃ」「私は赤が好き」と散歩途中の楽しみにもなりました。

またご自宅で育てた自慢の花を持ち寄って花瓶にさしたり、押し花をしたりと皆様春を楽しまれています。



介護職員 中原 朋之



節分祭 2月3日



今年も待ちに待った豆まき！！各階に分かれて行いました。利用者の方からは、「今年は誰がするのかな？」「去年は〇〇さんだったで。」「いや、あんた違うで。〇〇さんじゃったが。」「まあ～、去年の事も忘れてしも～たわ（笑）」こんな会話が聞こえる中・・・

ドン・ドン・ドドド・ドン…当日、突然太鼓係に任命されたとは思えない華麗なバチさばきのA主任！

「鬼はあ～外～、福はあ～内～。鬼はあ～外～、福はあ～内～」赤鬼と青鬼が背負っている籠に向かって

お手玉やボールを投げ入れました。投げ入れるのを、チョイチョイ邪魔をする福の神に変装したY事務長。その姿を皆でケラケラ笑って見ました。でも楽しい時間は、あっという間に過ぎてしまいました。

そして、恒例の記念撮影 福の神の膝に今回だけよと座る方や、恥ずかしがられる方もおられましたが、一年の無病息災を願って、ハイチーズ (^_^)vたくさんの笑い声に包まれた玉松園☆流行りのウイルスになんか負けたくないぞお～～～ (/・ω・)/

※赤鬼（N相談員）青鬼（K介護員）福の神さん、汗だくになって頑張ってくれました。お疲れさまでした。来年も期待しています☆



おでんバイキング 2月26日

今回は、屋台気分を味わっていただきたく、おでん鍋を準備しました。

メニューは、おでん7種類（大根、卵、じゃが芋、ちくわ、角天、はんぺん、さつま揚げ）、おにぎり3種類（梅しそ、わかめ、若菜）、デザート2種類（フルーツポンチ、フルーツチェ）。おでん定食を想定してサラダとみそ汁もご用意しました。

飾り付けをしていると、「卵2つ食べようかなあ。3つは、やめとこうかあ。」「今日は、バイキングあるんでしょう？」「関東炊き何時やった？」「何が出るん？」など、楽しみにしていただいている話が聞こえてきて、企画をして良かったなあと思いました。

会場の準備も整い、「いただきます。」の合図から間もなくして「おかわり!!」、「私にも、おにぎりない？」、「持って来て。」など、おかわりの嵐に足りるかな？内心ドキドキしながら鍋の底を見ていると、入所者の皆さまから、「お腹いっぱい。」「もおええわあ。十分食べた。」「おいしかったよ。」「ええ味付けじゃったよ。」「デザート、選べて良かったあ。両方食べた。」「大満足。」との声をかけていただき、無事に終わることができました。

今後も、喜んでいただける食事の場を計画していきたいと思っています。

管理栄養士 友次 朋恵



ノロウイルス実践研修

玉松園感染委員では、年内での研修計画の中にいくつかの内部研修を取り入れておりますが、その1つである『ノロウイルス実践研修』を2/16、24に行いました。実際の現場を想定し、手順通りに出来ているか？不安に思いながらの実践になりました。1年に1回はこの研修を実施しておりますが、時間が過ぎると記憶が薄れていくものです。毎年ではありますが、インフルエンザをはじめ色々な感染予防対策をスムーズに対応出来るよう実践の研修を重ねています。



また、世界中を恐怖に脅かしている新型コロナウイルスへの対応策として『新型コロナウイルス対策マニュアル』を作成したり、手作りのフェイスガードなど『コロナグッズ』を準備し職員みんなで検討しております。この状況を乗り越え以前のような穏やかな楽しい生活に戻りたいとみんなで願っています。

介護職員 八木 祐子

玉松園お花見会



玉松園に咲いている1本桜が満開を迎えた時、4月2日、戸外の日和も良く晴天に恵まれ玉松園お花見会が開催されました。今年は新型コロナ感染拡大防止策のご協力をいただいているところ、このような行事が無事に行われたことで入所者の皆さまが安堵の表情とさわやかな笑顔が見られたことは、ほんとやすらいだ日常を感じている様子でした。心地良いそよ風が吹いている中で桜餅と緑茶をいただき、「美味しいね。」「春爛漫で素敵。」等と歓談を楽しまれて桜の花の香りを感じておられました。桜木の下で記念撮影も行い穏やかな雰囲気にもまれてあっという間の時間を過ごすことが出来ました。

計画作成担当者 田村 浩子





和みの郷かなや



養護老人ホーム



節分

2月4日：寒さも少し和らいだ日に和みの郷かなやで「節分」行事を行いました。

様々な鬼の衣装を着た男性職員の登場に、入所者の皆さんからは笑い声が聞こえ、逃げ回る鬼に、普段は温厚な利用者の方も「鬼は外、福は内」と大きな掛け声で一生懸命に新聞紙で作った豆を投げて、本年の厄を落とし、幸福を祈りました。

その後、すごろくゲームを職員を交えて行い、お茶とお菓子を楽しんでいただきました。

皆さんからは、「面白かった。」「厄落としができたから、今年も元気で長生きできるなあ。」といった声が聞こえていました。

介護職員 瀧口 康士



おいしい野菜



2月14日：バレンタインデーに野菜のプレゼントをいただきました。持って来てくださったのは、新見市哲多町の山根さん。大きな大根、白菜、ほうれん草など、たくさんの野菜をいただきました。

いただいた野菜は厨房の職員や栄養士がおいしく料理して次々と食卓に載りました。山根さん、ありがとうございます。そして、ごちそうさまでした。

計画作成担当 橋本 央子



ひなまつり



3月4日：前日にひな祭りバイキングでちらし寿司などを堪能し、今日は春めく陽ざしとともに、ひなまつり行事を行いました。

ひきたてのコーヒーと紅茶を用意して、入所者のみなさんの好きな飲み物を選んでいただき、可愛らしいイラスト入りの袋に入ったあられを、みんなでおいしくいただきました。

いざ本番!! 入所者と職員が一緒にひな祭りの曲に合わせた可愛らしい踊りの練習発表の時。

ひなまつりの歌を歌いながら、お内裏様とお雛様が登場しました。その姿に会場はどよめき、二人に見入ってました。お内裏様とお雛様の後ろにはハッピー姿で花飾りを持って舞う職員が続き、入所者の皆さんも踊れる人は踊り、花飾りを振る人など、心あたたまるひと時となりました。

介護職員 東 真由美



3月3日ひな祭りバイキング



春が来た



毎年4月の初旬になると、市内でチューリップ栽培をされている農家の方が、施設に切り花を届けてくださいます。

花の見頃には「見学においで」と声を掛けていただくのですが、今年は見学にいけなかったのが、早速色とりどりの花を玄関やユニットに飾って、春の訪れを感じることができました。

栄養士 金藤 海幸



消防避難訓練



避難後の人数確認

3月5日：避難誘導・指示等を目的とした、昼間想定
の避難訓練を実施した。新職員を中心として、火災ベルが鳴
り響く館内で、火災現場確認・初期消火と避難放送を行
い、入所者の避難誘導開始。自分で移動できる
入所者は自力移動し、介助が必要な方は職員が
対応し、避難した。

避難訓練は無事に終了し、反省会を行う。回
数を重ねるも、放送する職員は動揺し、的確に
指示が出せるかと緊張した。職員一人ひとりが

振り返り、避難訓練に関して気付くこと、落ち着いて誘導できること、とっ
さの判断などができることで入所者の命が救えると再確認した。

生活相談員 黒川 睦美



初期消火



避難放送



綺麗な花見

4月7日：暖かい春の日差しの中、桜の花が満開を迎えました。桜を
目にする「来て！」「見て！」とまるで人の心と体を誘うかのよう
に、綺麗な花びらが舞い、優しい風に桜の花が揺れています。

日頃は、居室で過ごすことが多い入所者の方も「行きたい。」と言わ
れ、連れ立って外へ出ると、やさしい表情を浮かべ桜を見ていました。

綺麗な桜の木の下でグループごとに「ハイ！チーズ！」と
記念撮影をしました。

日本ならではの桜の花です。コロナで何処にも外出できな
い日々だけど、桜の花はみんなの気持ちを癒し、自然と笑顔
満載にさせてくれました。

来年も綺麗に咲いてほしいですね！

介護職員 藤井 由香



誕生日会



4月23日：令和2年度、最初の誕生日会を行いました。
昨年までは、会食（昼食）を挟んで誕生日会、アトラクシ
ョン（カラオケ）の流れで行っていましたが、ゆっくり
会食して頂こうと考え、単独で会食を行ったところ、盛
りだくさんのご馳走をゆっくりと食べられて皆さんには
好評でした。

おやつ時に変更した誕生日会では、アトラクションと
して和みのスター歌手が歌い、バックダンサー5名が華
麗に踊り、面白いばかりメイクで笑いを誘っていました。予定していたカラオケは時
間の都合で1曲しか歌ってもらえませんでした。次回はカラオケも大いに楽しんで
いただけるように考えたいと思います。

新型コロナウイルスにより、いろいろな行事が制限され、月に1回の散髪、3月のお
花見ドライブ等できなくなり、利用者の方も「早くコロナが治まらんといいん。」と
口々にしているのを聞くと、早く終息し、穏やかな日々に戻れることを願うばかりです。

コロナに負けず、これからも職員の明るい笑顔で、ご利用者の皆さんに楽しく過ごし
ていただけるように支援していけたらと思います。

計画作成担当 古屋 純子





忘れません。あっという間に6ヶ月が経っていました。本当にとても早いですね。私は信じられません。また、自分自身も日々成長していたなということが分かります。これからも、自分が将来立派な社会人になるために、もっともっと一生懸命頑張って努力していきたいと思います。皆さまにもいつも感謝しています。私の感謝の気持ちを込めてお話ししております。これからも皆さまお元気でいてください。ご協力していただきありがとうございます。

レティエンヌーさん (研修先 介護老人保健施設たちばな苑・みなみがた荘デイサービスセンター)



仕事でスタッフの皆さんは一生懸命働いています。いつも皆さんに助けられました。時々仕事が忙しくて、あまりおしゃべりできませんでした。しかし、皆さんから教えてもらい、いろいろ勉強しました。とても楽しかったです。大変お世話になりました。本当にありがとうございました。



天平のパンデミックと令和のパンデミック

ライフケアセンター薬剤師 酒井 律江

No.74 (2019年) のトピックスで、「新元号「令和」の出典は「万葉集」と題して、「万葉集」に触れ、意外に面白いかも！と書きました。また、カルチャーの万葉集講座に参加したところ、まさに今と同じ様に感染症に苦しめられた「天平9年の出来事」について聞き、歌より興味を感じてしまい少し調べてみました。

講座のテーマは万葉集の代表的な女性歌人である おほとものさかのうへのいらつめ 大伴坂上郎女 (大伴家持の叔母で姑) の贈答歌でした。

こ来むと言ふも 　こ来ぬ時あるを 　こ来じと言ふを 　こ来むとは待たじ 　こ来じと言ふものを

(訳：来ようなんて言ったって来ない時があるのに、来ないと言っているあなたを来るだろうと思って、待ったりはしませんよ。来ないとあなた自身が言っているんだから)

恋人から贈られた歌に、戯れながら「こ」の音を重ねて、リズムをとりながら、チクリと嫌味で返している歌です。

作風は技巧的でありながらも豊かな抒情性をも兼ね備えていて、数多い男性との相聞歌は、万葉集の中でも異彩を放っているといわれています。彼女は13歳頃に穂積皇子に嫁ぐも死別。その後、藤原麻呂の恋人となります。麻呂とは藤原不比等 (大化の改新の中心人物で、天智天皇の腹心となった藤原鎌足の四男) の四兄弟の四男です。この四兄弟は異母妹を聖武天皇の皇后にしようと長屋王 (天武天皇の孫) を陰謀で追い詰めて自害させ、妹は皇后 (光明皇后：皇族以外から初の皇后。ハンセン病の患者の膿を吸ったといわれる人) になります。ところが天平9年 (737年) 国政を担っていた藤原氏四兄弟全員が天然痘にかかり、病死してしまいます。世間では無実の長屋王の祟りだといっていたようです。この時の天然痘が現在の新型コロナウイルス感染の状況と似ていると思うのです。

「しよくにほんぎ続日本紀」によると、天平7年 (735年)、天然痘は遣唐使船帰朝後数か月で大流行しています。天平9年 (737年) にはそれに輪をかけて深刻な事態となっています。春に筑紫 (福岡) から天然痘が伝染し、都 (平城京：奈良) へ到達、夏から秋にかけて大流行しています。感染源は遣新羅使 (新羅：しらぎ国=朝鮮半島南東部にあった国) 一行ではないかと疑われています。というのも、大使の安倍継麻呂は帰路、対馬で病死、副使はその病気に感染し京に入れません。一行の100人を超えていた人数が、僅か40人に減って帰京したのです。この頃から天然痘が平城京中に広まり大流行となり、時の権力者・藤原氏四兄弟や時の内閣で太政官が次々と死亡し、藤原政権は倒れたのです。万葉集第15巻は遣新羅使の歌群や挽歌が載っています。そこに、往路の壱岐で病に倒れた人がい

たことも記されています。帰朝した遣新羅使がクラスターとなったと考えられているようです。そして大宰府管内（福岡）諸国、大倭など経て、伊豆と広範囲に天然痘が蔓延し、多くの人々が亡くなりました。

そこで政府のとった対策は、税金を免除し、賑給しんきゅうといって、体の弱い人や病気の人に食物や薬を与えています。また7か条からなる太政官符（太政官から八省・諸国に命令を下した公文書）を発しています。これには疾病の病名や症状、治療法、患者の生活上の注意、飲食物の細かい指示、回復期の処置、心得そして内服薬の使用などが書かれています。この官符が届いたら速やかに次に伝送し、国司は郡内を廻って百姓に官符の内容を知らせ、重湯や粥にする米のない百姓には、官物など賑給することを命じています。その一部を見みると、「水を飲ませてはいけない、鮮魚や肉や生野菜は食べてはいけない、丸薬・散剤など服用してはならない。もし熱が引かなければ、人参湯を飲ませるのが良い」など、今の私達には疑問に思うことも多く書かれていますが、政府が必死で治療法を探していることも感じられます。そして緊急性を重視しています。また同時に、災害や疫病などの異変は為政者の資質によって引き起こされるという風潮があり、天然痘の流行に個人的な責任を感じた聖武天皇は仏教への帰依を深め、東大寺および盧舎那仏像（奈良の大仏）の建造を行いました。天平2年（730年）、光明皇后が施薬院（今でいう病院）と悲田院（孤児や飢人を救済する施設）を設立し、社会活動や慈善活動を行っています。

天然痘はワクチン接種により発生は減少し、WHOは1980年5月天然痘の根絶を発表しました。令和2年（2020年）となった今、世界中を恐怖に陥れている感染症が発生しました。新型コロナウイルスです！中国武漢から発生し、あっという間に全世界に伝染、パンデミックとなってしまいました。感染力が強く、肺炎を起こし重症化しやすいウイルスです。感染源は中国大陸とし、朝鮮半島経由して伝わったといわれた天平時代と似ていますよね。しかし政府の危機感、何より国民への対策が大きく違うように思うのですが、皆さんはどのように思われますか？

政府は4月7日に新型コロナウイルス感染に対する緊急事態宣言を7都府県に出し、続いて4月16日には全地域に発令しました。

今回の新型コロナウイルス感染症は、今のところ予防薬、治療薬もなく、現在使われている抗ウイルス薬を使用できるか治験を始めたところです。新薬の開発も行われています。ワクチン・治療法が早く見つかることを祈ります。

新型コロナウイルス感染の終息は、国民各人の自覚と自粛にかかっているのです。

参考：インターネットで配信する防災情報新聞 etc.



我が国では桜の便りと共に新しい年度を迎え、新しい人生の節目となるこの時期は特に思い入れのある季節ですが、今年は「新型コロナウイルス」と共に迎える事になりました。未知のこのウイルスは全世界に瞬く間に広がり、多くの感染者と社会不安を巻き起こし、国内でも緊急事態宣言が発出され日々の生活様式が一変しました。

施設では各種行事も制限され、家族との面会もままならぬ日々が続いていますが、「Stayホーム」今しばらくは我慢の時、笑顔で会える日を信じて!!

和みの郷かなや 服部 豊

ライフケア：岡山市北区国体町3番12号 TEL086-252-2222 宇垣 荘：岡山市北区御津宇垣2069-10 TEL086-724-0707
 憩いの丘：岡山市北区日近1807 TEL086-295-1155 玉松 園：岡山市北区御津金川123番地 TEL086-724-0058
 備中 荘：岡山市北区高松原古才600-5 TEL086-287-3332 和みの郷かなや：新見市金谷641番地 TEL086-772-1244
 福祉施設合同HP <http://www.okasaisei-life.jp/>